

【2025事業報告書②】

HKFA審判委員会 女子部

高校総体

■大会名：令和7年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会
 ■日時：令和7年7月29日(火)～8月2日(土)
 ■場所：日鋼室蘭スポーツパーク（室蘭市）
 リーフラスフットボールパーク（室蘭市）
 まなびの里サッカー場（伊達市）

■参加者：稲葉 里美（1級審判員）
 長浜 杏名・高橋 柚葉・土屋 花（2級審判員）
 オホーツク地区ユース審判員（3級審判員）

■日程：7月29日 1回戦
 30日 2回戦
 31日 休養日
 8月 1日 準決勝
 2日 決勝

昨年に続き、女子サッカー競技のみ、室蘭・伊達で開催されました。



5R ～一歩一歩着実に～

JFA派遣（1級女子） 8名
 全国高体連派遣（2・3級） 7名
 開催地（北海道1～3級） 18名

令和7年度 全国高等学校総合体育大会 中国総体 2025 女子サッカー組合せ			
常葉橋 1	7/29 7:30	8/1 8/2	9 帝京長岡
宇都宮文星 2	7/29 9:30	8/1 8/2	10 鳴門渦潮
聖カピタニオ 3	7/30 12:00	8/1 8/2	11 大谷室蘭
道文教附属 4	7/30 12:00	8/1 8/2	12 作陽学園
日ノ本 5	7/30 12:00	8/1 8/2	13 鹿島学園
日本航空高校 6	7/30 12:00	8/1 8/2	14 東海大福岡
尚志 7	7/30 9:30	8/1 8/2	15 聖和学園
神村学園 8	7/30 9:30	8/1 8/2	16 大商学園

開け未来の扉
 中国総体 2025
 女子サッカー競技大会
 令和7年度 全国高等学校総合体育大会



参加者のコメント

稲葉 里美 1回戦：主審 2回戦：主審

3年目の北海道開催となった全国高校総体ですが、2日目の津波の影響による避難指示が出て、警戒しなければならぬ事態となってしまう、選手はベストな状態ではない中だったと思いますが、高いパフォーマンスを間近で見ることができました。そして、高体連の方々におかれましては、不測の事態にも迅速に対応してくださり、とても感謝いたします。

個人としては、2回戦目まで参加しましたが、審判チームとしてやるべきことは共有したり、目を合わせて1つ1つ行うことができました。レフリースайдからペナルティエリアへの移動など、見る事象によっては横のスライドを意識しながら準備しました。できるだけ止まることなく移動できたら良かったのですが、まだタイミングよくスライドが出来ず、今後の課題も残りました。

北海道で全国大会が行われることが3年続き、ハイレベルな試合を肌で感じることもできるのも1つ喜びがあります。大会に携わった審判チームも、この刺激が今後に良い影響を受け、様々な大会で成長している姿を見られたら良いなと思いました。

長浜 杏名 1回戦：副審 2回戦：副審 準決勝：副審

今年もインターハイに参加することができ大変光栄に思います。津波警報が出たことで日程がずれてしまいましたが、審判チームは1級の方々を中心にまとまり翌日の試合に備えて良い準備をすることができました。

私は1回戦から準決勝まで3試合で副審を担当しました。長く審判を続けていますが、まだ経験したことのないことがあるのか！と驚くようなことが起こったり、試合中の対応に悩んだりしたこともありましたが最後まで充実した大会となりました。

この経験を地域に還元できるよう精力的に活動していきたいです。

高橋 柚葉 1回戦：副審 決勝：四審

今回、津波警報でタイムスケジュールの変更があったり災害対策が必要の中、無事全試合終了でき安心しております。

私は、初戦の副審と、決勝の第4審判を努めさせていただきました。1級審判員と割当を組めたことで普段の試合で大切にしていることや準備の必要性を学ぶことができました。特に決勝では円滑な試合コントロールを行うためにたくさんコミュニケーションを取り選手監督が試合に集中できる環境を作ることができたと思っています。

また、試合以外ではWEリーグの話や、仕事と審判とプライベートの両立など私自身が今後の審判人生で参考になる話を聞くことができモチベーションも上がりました。良い刺激と影響を受け、これからの生活がもっと楽になりました。女性審判員皆さんで食べる食事は幸せで仲良くなることができ試合に臨めたことは本当によかったと思います。これからも今年の自分よりももっと輝ける自分を作るためにより一層努力していきたいと思っています。

今回は、素敵なインターハイに参加でき、ご指導をいただきありがとうございました。また、試合の運営を円滑に行なって頂いた役員の方々にも感謝です。

土屋 花 1回戦：副審 2回戦：副審 準決勝：四審 決勝：副審

今回大会に参加するのは2回目であり、昨年同様インターハイだからこその緊張感がある試合を経験できたこと、とても嬉しく思います。今回多くのアクシデントがありその中で改めてサッカーができる環境にいることのありがたさに気づくことができました。また大会というのは多くの方々の支えがあってこそであり、私たちが行うべきなのはそのような方々にピッチの中でサッカーの魅力をプレーを通して選手と共に生み出し見せていくべきではないかと強く感じました。

今大会に関わってくださったすべての方々に感謝申し上げます。

オホーツク地区ユース審判員 1回戦：副審 2回戦：副審 準決勝：四審

今回初めてインターハイの全国大会に参加させて頂いて、1級女子審判員の方や、地域派遣審判員の方から様々なことを学ばせていただきました。A2が2試合、4thに1試合割り当てをもらいましたが、4thに一番苦戦しました。何と言えど場が収まるか、役員を落ち着かせることができるか、とても悩みました。しかし、1級の方々にたくさん相談をし、自分ができる最善の対応ができたと思います。またオンザピッチの面だけでなく、オフザピッチの面でも沢山学ばせていただきました。津波の影響で、1日何もできなかった日も、明日からの話を沢山して、色々な場合を考え行動していて、自分も気を引き締めるきっかけになりました。

今回学んだことを地域でも共有して、さらに成長していきたいと思っています。

最後に、今回インターハイに参加させていただき、ありがとうございました。



決勝戦は、エスコートキッズと一緒に



決勝Referees

